

学力向上に向けた取組

函館市立的場中学校

1 課題

家庭学習の習慣化
望ましい生活習慣の育成

2 課題解決の具体策

家庭学習の習慣化を目指した「チャレンジタイム」の実施
「食に関する授業」と「みそ作り体験」の充実

3 取組の概要

について

1年生は漢字、2・3年生は英単語についての30問程度の練習プリントを配布し、家庭学習として毎日取り組む。練習したプリントは、家の方にみていただき、学校に提出する。2週間後に取り組みの成果を「チャレンジタイム」（検定テスト）で確認する。



について

自分の生活や将来の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進できるように、食に関する授業を実施している。

1年生「成長期の栄養」（2時間）

2年生「心の安定と栄養素」（1時間）

3年生「朝食の必要性～受験期の食事」（2時間）

「生活習慣病予防の食生活」（3時間）

みそを手作りすることで、日本の伝統的な食品に興味や関心を持たせ、日本の食文化を見直す機会としている。できあがったみそは、給食で試食している。

4 成果と課題

チャレンジタイムは、負担にならない現状の取り組みが生徒の実態にあっており、意欲を持って練習し、家庭学習の習慣化につながる生徒が多く見られた。

生徒が食の大切さを理解しても、家庭事情で食生活は乱れがちである。各種のたよりや懇談会等で食生活の重要性を訴えていく必要がある。